

高齢難聴者の補聴器利用

認知症予防に効果あり

令和3年7月から購入費用を助成

問 認知症予防に効果があるとして、令和3年7月から開始した高齢者に対する補聴器購入費用の一部を助成する事業の実施状況と今後の取り組みについて聞かす。

答 認知症を引き起こす原因の一つとして、難聴が挙げられており、国の推計では、75歳以上になると難聴になる人の割合が高くなる。同事業は、本市の認知症あんしんプロジェクトの一環として、聴覚障害で身体障害者手帳の交付を受けていないが、医師が補聴器は必要であると認めた65歳以上の人を対象に、1人1回限り2万円を上限に助成するものであります。

申請件数は、4年1月末時点で239件、申請者の約90%が70代から80代の人であり、認知症予防に有効な施策と考えている。また、利用者からは、助成制度があるため補聴器の購入を検討した、小さな音が聞こえるようになり、人と関わることが楽しくなったなどの意見があり、4年度も引き続き実施していく。

今後は、3月議会画どおり適切に職員の処遇改善が行われているか、全施設・全職員の状況を確認する。なお、10月以降も国の交付金等により賃金改善の水準は維持される見込みだ。

本市としては、感染



1人1回限り2万円までを助成

保育士等の処遇改善 月額9千円程度の賃金引き上げ さらなる取り組みが必要

問 国は保育・児童クラブなどに社会生活の維持のために働くエッセンシャルワーカーの処遇を改善するため、収入を3%（月額9千円程度）引き上げる経済対策を決定した。これに対する本市の対応について聞かす。

答 この処遇改善事業は、令和4年2月から9月



子どもたちのためにも改善が急務

まで実施され、本市が所管する保育所や放課後児童クラブ、児童養護施設などでは、国と同水準の処遇改善を行う考えだ。実施状況を確認するため、対象施設には、処遇改善に係る基準額を示すとともに賃金改善計画書の提出を求めている。また、事業終了後には、各施設に実績報告書、給与規定および賃金台帳の提出を求め、当初の計画どおり適切に職員の処遇改善が行われているか、全施設・全職員の状況を確認する。なお、10月以降も国の交付金等により賃金改善の水準は維持される見込みだ。

本市としては、感染

二見人工島の市道の環境整備

街路樹が伸び放題で危険

市街地との対応に差はないか

問 二見人工島の市道の街路樹や植え込みが伸び放題である。歩行者のけがの原因や車両運行の支障になるなど非常に危険な状態であるため、早く剪定してほしいと市民から要望書が出されている。SDGsの観点から、環境に配慮したまちづくりを進める本市が、二見人工島の市道の環境整備

答 二見人工島の市道は、21路線で総延長は約11キロメートルあり、そのうち18路線で街路樹を整備している。現在、12路線の剪定と除草が完了しており、残る6路線は令和4年3月中旬に実施する予定だ。

コロナ禍で増える負担 妊婦への経済的な支援 給付金の支給を検討

問 妊婦がいる家庭では、コロナ禍での出産や子育てに対する不安が大きく、感染予防のための出費が増えている。子どもを授かった家庭を支援するため、独自に10万円を支給している自治体もある。本市でも同様の支援が必要ではないか。

答 コロナ禍において、本市では妊婦からの相談が増加していることから、希望者にはオンラインで相談できる環境を整えるなど、保健

市道の街路樹の維持管理は、複数の業者に委託し、街路樹の状況を確認しながら計画的に順次実施しているが、二見人工島の市道については、委託業者の繁忙期と重なったため遅れが発生した。今後、市として作業の進捗よく状況の把握に努め、適時適切な対応を行うとともに、市内の他の地域と同様に、

所や医療機関と連携を図り、速やかに必要な支援へとつなげているところだ。また、経済的な支援として、これまでも妊婦健康診査費用の助成や、5千円分のタクシー券の交付を行ってきた。令和2年12月からは、感染対策の費用負担を軽減するため、分娩前に医療機関で新型コロナウイルス検査を受けた場合は、上限2万円までの助成を行っている。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、精神的、経済的な不安を抱えて過ごす妊婦に対する給付金の支給は、本市でも実施する必要があると考える。今後、市議会とも相談の上、次の6月議会を待たず、早期の実施に向けて財源等を含めた検討を進めていきたい。



3月中旬に作業は完了予定

明石の海岸で 待ち望まれる ウミガメの産卵

ウミガメの産卵

問 平成26年に本市でウミガメの産卵が確認されてから7年が経過した。本市のウミガメ保護の取り組みについて聞かす。

答 ウミガメは、静かで明かりの少ない海岸を好むため、海岸に近い休憩施設では夜間照明の消灯、午後10時以降は海岸での花火を禁止するなど環境を整えるとともに、過去に産卵があった海岸に上陸の情報提供を呼び掛ける看板を設置し、情報収集や上陸が確認されたときは迅速に対応できる体制にしている。また、きれいな環境を保



きれいな海岸で産卵を待つ

つために、漂着ごみを処分する経費を毎年予算化し、海岸の維持管理をしている。さらに、上陸が確認された場合は、産卵場所に安全確保のための柵を設置し、ウミガメの情報を発信していく。

今年11月には、本市で全国豊かな海づくり大会が開催されるため、ウミガメの保護を含め、SDGs未来都市として、人にも自然にもやさしい持続可能なまちづくりにつながる取り組みを関係機関と進めていく。

意見書を提出

- ◎核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書
- ◎沖繩戦没者の遺骨等が点在されないよう遺骨収集を更に迅速に行うことを求める意見書
- ◎文書通信交通滞在費に関する制度見直しを求める意見書

請願

- ▽採択された請願△
- 日本の核兵器禁止条約署名・批准を求める請願
- 「沖繩戦没者の遺骨等が点在されないよう遺骨収集を更に迅速に行うこと」を求める意見書」を国に提出するよう求める請願

意見書3件を可決し、政府・関係機関に送付しました。なお、内容は明石市議会のホームページでご覧いただけます。